

助産婦雑誌 第56巻 総目次

2002年1－12月

(表題は、題名：筆者名、号数、開始ページ数)

特集

[1月号]もっともっと助産婦に

助産婦に優しくされて、人は赤ちゃんに優しくできる：熊手麻紀子，1，9

助産婦さん、もっと姿をあらわして：金子真由美，1，15

助産婦は女性のターニングポイントに深くかかわる：古賀敦子，1，20

21世紀は「助産婦」というブランドを育てる時代－助産婦と母子がさらに近くなるために：栗原美幸，1，24

母親との対話を大切にする助産婦に：佐藤あゆみ，1，30

科学は倫理の上に。倫理は科学の上に：勝村久司，1，36

[座談会]あたたかなプロフェッショナルでいてほしい：熊手麻紀子・森ひろえ・園田正世・桶川美保子・二之宮つもる・西浦陽子，1，43

[座談会誌上参加]ナマの悩みに耳を傾けてください：西浦陽子，1，49

助産婦に投げかけられているもの：高橋弘子，1，50

[2月号]生殖補助医療

わが国の生殖補助医療の現状：青野敏博，2，97

行政の動き－「厚生科学審議会生殖補助医療部会」報告：新野由子・安藤広子，2，102

ART(生殖補助医療技術)解説：高橋克彦，2，109

体外受精コーディネーターの養成について：荒木重雄，2，116

日本不妊看護ネットワーク(J.I.N.N.)の活動：森明子，2，121

語られない不妊；不妊の現状と治療の実態：長沖暁子，2，126

生殖補助医療で生まれた子どもの心：渡辺久子，2，131

[インタビュー]わが国の養子縁組制度：才村眞理，2，138

[3月号]新生児黄疸。母と子のケア

新生児期早期の黄疸の機序と治療：河野寿夫，3，187

新生児黄疸と母乳育児：瀬川雅史，3，192

光線療法と母乳育児のEBM：芦田千恵美，3，197

光線療法を受けた児をもつ32人の母親に地域助産婦が行なったアンケート調査から：河房子，3，202

新生児黄疸ケア；横浜市立市民病院：常田裕子・山田道代・山本光子，3，208

新生児黄疸ケア；熊本労災病院：嶋田浩美・西田祥子・岩政仁・児浦ミキ・スタッフ一同，3，212

新生児黄疸ケア；五輪橋産科婦人科小児科病院：多田光代，3，216

新生児黄疸ケア；北里大学病院：新井陽子，3，221

新生児黄疸予防のための治療用ベッドの使用：矢島床子・渡辺愛，3，225

[4月号]ダイナミック助産婦外来

21世紀の助産婦外来：村上明美，4，277

勤務助産婦の更なるステップアップ。担当助産婦が継続ケア－札幌マタニティ・ウィメンズホスピタル：室田明美・鎌田恵子・菊地静子，4，282

妊娠婦主体のお産を目指して－浦添総合病院：比嘉綾子・津覇江利子・浜川由美子・喜納春江，4，289

大学病院におけるローリスク外来－自治医科大学附属病院総合周産期母子医療センター：齋藤景子・工藤祝子，4，297

中堅助産婦の挑戦；妊娠婦のQOLを高める助産婦外来の開設－聖隷浜松病院総合周産期母子医療センター：加藤ひな子・広瀬直美・山田恵美・平山亜紀・山下信子・斎藤利江子，4，304

産褥期助産婦外来－山梨大学医学部附属病院：田村佳子・田中瑞穂・松本眞利子・横田淳子・内田美智子，4，309

[5月号]障害児のノーマライゼーション

現代の潮流。ノーマライゼーションの推進：小西行郎，5，361

この子が「いい子」なのです：柴垣美代，5，365

親を傷つけることなかれ：玉井真理子，5，370

親子を抱える環境をつくる—NICUでの心理臨床の経験から：永田雅子，5，374
障害児の療育—小児神経科医の立場から：平澤恭子，5，380
障害児の療育；新しいリハビリテーション医学の考え方：奈良隆寛・北原侑，5，385
人は誰もが違う，人は誰もが完璧でない—Everybody's different, Nobody's perfect：川目裕，5，390
助産婦として正常・異常を考えつづけて：田邊美智子，5，395
重度心身障害児病棟で経験した2年間：犬山由美子，5，400

[6月号]スタンダードとしての母乳育児を科学的・効果的に援助するために(上)

国際認定ラクテーション・コンサルタント(IBCLC)について：井村真澄，6，447
母乳育児と妊娠：金森あかね，6，454
母乳育児；出生直後から入院中のケア：瀬尾智子，6，460
母乳育児；退院後から1か月頃までのケア：瀬尾智子，6，465
退院後の地域での母乳育児支援：越山茂代，6，471
母乳育児の母親へのメリット：所恭子，6，478
母乳育児に関する乳幼児の発達：本郷寛子，6，484
赤ちゃんにやさしい病院認定のための世界共通規準：涌谷桐子，6，491

[7月号]スタンダードとしての母乳育児を科学的・効果的に援助するために(下)

起こりやすい乳房トラブルとその対処法：水井雅子，7，533
一人目の母乳育児がうまくいかなかった経験を持つ母親への援助：本郷寛子，7，540
ラクテーション(母乳復帰)：武市洋美，7，546
低出生体重児と母乳育児：大山牧子，7，552
吸啜障害を持つ児への援助：金森あかね・シェール・マーメット，7，560
舌小帯短縮症に関する文献的考察；母乳育児の障害との関連について：瀬川雅史，7，567

[8月号]第26回ICMウィーン大会

先進諸国の一員として日本がICMでなう役割：松岡恵，8，626
[インタビュー]第26回ICM大会会長に聞く；世界の家族のために助産師と女性が力を合わせて：マリア・シュブンバウアー，8，633
[インタビュー]世界の助産師をつなぐ“橋”として：ネスター・モヨ，8，637
[インタビュー]芸術の街ウィーンを飾った助産のアート—第26回ICM大会を開催して：クラウディ

ア・シャツハナー／ドロテア・ループ，8，641
[インタビュー]ニュージーランドの助産師は，女性の声です。助産師の自律への道筋：サンディ・グレイ，8，645
[インタビュー]トリニダード・トバゴ助産師協会誕生のスピリット：ヴィーナス・マーク／デボラ・ルイス，8，650
[インタビュー]女性の声を届けるために—ベトナム助産師協会の歩みとこれからの展望：ファン・ティ・ハン，8，655
[インタビュー]次期ICM大会会長に聞く 2005年，美しいブリスベンが皆さまをお迎えします：キャロライン・ウィーバー，8，659
[大会参加記]I'm a Midwife! 助産婦であることの幸せに酔いしれたICM大会：佐藤香代，8，669
[大会参加記]助産婦の心を肌で感じた瞬間：武藤香子，8，674
[大会参加記]初めてのICM大会への旅で得た刺激とよろこびと：近藤好枝，8，679
[大会参加記]3年後も平和にICM大会を迎えたい：岩本美佐子，8，683
[大会参加記]オーストリアの助産施設とマタニティークアー見学ツアー参加記：横手直美・信國寿美，8，688
第26回ICM国際評議会での決定事項：山本あい子，8，694

[9月号]死産・流産のケア

児を亡くした家族はどのようなケアを望んでいるか：北村俊則・蓮井千恵子，9，709
大切にしてほしい死産・流産のケア：福井ステファニー，9，714
「SIDS家族の会」は死産・流産した方のサポートにも取り組んでいます：福井ステファニー，9，718
お母さんと家族の悲しみの道程—「SIDS家族の会」会報から：堀田匡哉・堀田彰恵，9，722
大阪府立母子保健総合医療センターの実践—ガイドラインを中心に：井上京子・浜崎奈津子・芦田美樹子・遠藤千昌・高川みちる・筆野幸美，9，727
杏林大学病院の実践—看護方針の確立で，しっかりケアができるようになった：高崎由佳理・福井トシ子，9，732
横浜市立大学市民総合医療センター母子医療センターの実践—医療者に求められるものを自覚しつつ：関和男，9，738
援助者である助産師・看護師をケアする大切さ：福田紀子，9，741

[10月号]周産期の糖尿病ケア

[座談会]知ってもらいたい，糖尿病妊婦のこころ：中村善美・近藤恵美子・田畑和美・福井トシ子，10，795

女性のライフサイクルからみた、糖尿病をもつ女性の理解：福井トシ子，10，802
糖尿病と妊娠：高本偉碩・門脇孝，10，807
思春期の糖尿病患者へのかかわり：内潟安子，10，813
糖尿病と遺伝カウンセリング：西郡秀和，10，818
糖尿病合併産婦から出生した新生児のケア：豊田淑恵，10，824
助産師が行なう糖代謝異常女性への指導について：福島千恵子，10，829
かかわりが困難だった糖尿病合併妊婦の看護を振り返る：高橋久子，10，836

[11月号]知っておきたい歯と口の健康

妊娠時の口腔変化：石川烈・川嶋庸子，11，889
妊娠期の口腔ケアにおける助産師の役割：味田徳子，11，893
歯周病は低体重児出産のリスク要因：11，899
歯科医の体験的口腔保健指導—現代女性のライフサイクルを見すえて：中野由美子，11，904
周産期女性の口腔管理：遠藤圭子，11，911
胎児期の歯の発育：高木裕三，11，917
むし歯から赤ちゃんを守る：三輪全三，11，923
母乳育児と咀嚼機能：田村文誉・向井美恵，11，931

[12月号]子ども虐待防止支援ネットワーク

虐待防止のためのネットワーク—多職種連携がもつ力：松田博雄，12，975
虐待が疑われるケースへのアプローチ—病院勤務助産師としてできること：篠崎るり子，木下千鶴，12，981
医療分野におけるソーシャルワークとその活用のすすめ：名古屋恵美子，12，986
養育支援に見るソーシャルワークにおけるネットワークの有効性と課題—事例検討を通して考える：加藤雅江，12，991
三鷹市のソーシャル・ネットワーク—母子を支える社会資源への気づき：森田猛志，12，996
虐待防止のための地域と病院の連携を考える—保健師としての取り組みから：小島美保，12，1000
被虐待児保護のプロセス—児童相談所の役割とその活用：船戸忠夫・入江多津子，12，1006
[座談会] 虐待防止のために助産師ができること：稲佐郁恵・長谷川喜久美・桐山ゆき子，12，1012

特別記事

[座談会] あゆみ助産院の後輩育—開業をめざすための研修：左古かず子・赤塚庸子・高橋珠美・犬山由美子，1，55
[座談会] 21世紀。私たちが取り組みたい出産ケアについて語ろう：小笠原敏浩・東大野朋子・加藤忍・

藤原幸子・黒川賀重・福島裕子，3，234
2001年「いいお産の日」jin 東京レポート—赤ちゃんがやってくる—：兼松弘子・河合蘭・三好菜穂子，3，249
[対談] 贅沢なお産：神谷整子・桜沢エリカ，6，497
[対談] 助産婦の研究はお産の真実を語る：マーズデン・ワグナー／三砂ちづる，6，502
助産婦の自律に期待し応援し続けています—ロビー・デビス—フロイド博士インタビュー：ロビー・デビス・フロイド，7，577
メンバーが互いに分かちあう「日本助産師会」に—近藤潤子日本助産師会新会長インタビュー，9，747

特別寄稿

英国のマタニティ・ケアの“今”と緊急時の対応(後編)：横手直美，1，61
子育て支援グループ amigo を立ち上げて：松田妙子・大坪三保子，2，146
フィンランドの出産事情—母と子を大切にすけるケア。されど継続性のないケア：三砂ちづる，2，155
岩手県の勤務助産婦の分娩に対する意識調査：小笠原敏浩，3，229
HIV 除去精子による体外受精：花房秀次，3，240
不妊患者の声—産婦人科外来における不妊相談より，花房清美・杉田夕子，4，315
赤ちゃんにやさしい病院「Baby-Friendly Hospital」—出産直後からの母子同室を：永山美千子，4，323
リプロダクティブヘルス/ライツ概念によるヨルダンにおける JICA の家族計画・女性と開発プロジェクト活動：丹野かほる，4，331
病院と助産所における妊産婦ケアの実態(上)—WHO の「正常出産ケア実践ガイド」中のカテゴリー A (明らかに有効で役に立つ，推奨されるべきこと)を用いた調査から：蛭田由美・斉藤早苗・末原紀美代，4，339
パラグアイでも出産のヒューマニゼーションを。移住地の産婆，蓬田恭さんに学ぶ：山口阿希子，5，407
日本と米英韓との助産業務比較実態調査：洪麗信・八代利香・草間朋子・桜井礼子・宮崎文子，5，413
病院と助産所における妊産婦ケアの実態(下)—WHO の「正常出産ケア実践ガイド」中のカテゴリー B，C，D を用いた調査から：蛭田由美・斉藤早苗・末原紀美代，5，421
4年制大学における分娩介助実習の効果的な教授法の検討—実習状況および実習到達度の分析から：常盤洋子・今関節子，6，507
スラムの天使。ケニア人助産婦フリーダの話：早川千晶，7，583
産褥期の母子を支援する「テレビ相談」の開発：山本あい子・野澤美江子・川口孝泰・足立静・田村康子・津田万寿美・辻久美子・工藤美子，7，589

ダウン症児の親の会の活動趣旨と抱えている課題：辻
恵子，7，595
産科領域におけるリフレクソロジー：平山博章，9，
752
着実に根づいてきたリフレクソロジーの試み：長須千
賀子，9，757
リフレクソロジーをとおして：加藤明子，9，757
コミュニケーションを図り妊産婦さんとの良い関係
を：坂本和代，9，758
ペルーのダイレクト・エントリー助産教育：ルデ
ス・R・エレラ・カディジョ／イルダ・Z・バ
カ・ネグリア／川上 明子／宮里 邦子，9，760
「日本の助産婦が持つべき実践能力と責任範囲」に関す
る助産婦の認識(上)―「妊娠期のケアとその責任範
囲」「分娩期のケアとその責任範囲」に関する認識の
実態：村上明美・平澤美恵子・滝沢美津子・新田真
弓・村上睦子，10，844
特別な存在としてではなく，人々に寄り添って―フィ
リピンの小さな産院から：富田江里子，10，853
千載一遇のチャンス―連続テレビ小説「さくら」の助産
指導奮闘記：三宅はつえ，10，860
「助産婦サミットイン九州〜つながりあう心とからだ
〜」開催レポート―幸せ助産婦増殖計画：村上恵
理・怒留湯美季・小野田由紀，11，938
養成数の減少傾向にストップをかけたい。「助産師の
養成に関する請願書」を国会に提出：白井千晶，11，
944
アフガニスタンのIDP キャンプに助産院を：瀬井房
子，12，1022
「日本の助産婦が持つべき実践能力と責任範囲」に関す
る助産婦の認識(中)―「産褥期の母子のケアとその
責任範囲」「家族ケアとその責任範囲」「地域母子保
健におけるケアとその責任範囲」に関する認識の実
態：村上明美・平澤美恵子・滝沢美津子・新田真
弓・村上睦子，12，1030
事実をまっすぐ捉えよう―「母性」こだわりへの疑問：
榊原洋一，12，1037

クローズアップ

開業をめざす人の研修にも取り組み始めました。あゆ
み助産院の 左古かず子さん，1，1
「子育て支援グループ amigo」を立ち上げた 大坪三
保子さんと松田妙子さん，2，89
岩手県の出産ケアの実態と助産婦の意識を調査，改善
に取り組む 小笠原敏浩医師，3，179
妊娠・出産・産褥期と担当助産婦が継続ケアを提供
札幌マタニティ・ウィメンズホスピタル助産婦外来
のみなさん，4，269
パラグアイの日本人移住地で200人を取り上げた先輩
助産婦 蓬田恭さん，5，353
若い女性への「贅沢なお産」メッセンジャー。漫画家の

桜沢エリカさん，6，439
テクノロジー時代に助産婦に自律を求め期待を寄せ
る，人類学者の ロビー・デイビス・フロイド博士，
7，525
「小さな国の助産師が世界をつなぎました」 マリア・
シュブンパウアー ICM 会長，8，613
日本助産師会の新会長に選任された 近藤潤子天使大
学学長，9，701
「フィリピン女性のお産をサポートしたい」。ピナツボ
山の麓で産院を開いた 富田江里子さん，10，787
幸せ助産婦増殖計画「助産婦サミットイン九州」を開催
した 熊本 with の皆さん，11，881
アフガニスタンで助産院開設のために活動した 助産
院「ベビーヘルシー美蕾」の助産師たち，12，967

滝沢助産院物語：滝沢和子・川野裕子

生まれてきたよ，1，4
14歳の夏，2，92
至福の時，3，182
あなたに夢中，4，272
ひい孫よ，5，356
命の源泉を探しに，6，442
このままがいいね，7，598
痛みの時も，9，704
おとうと，10，790
ひとつ 幸せに，11，884
ここから，12，970

とらうべ

集会的「われわれ日本人」：森巢博，1，5
縄文の人に学ぶ：木村守男，2，93
世界自然遺産 屋久島の自然を思う：松本毅，3，183
普通の人々：木村健，4，273
生きているだけでいいんだよ：早川千晶，5，357
「中絶 NO!」のフィロソフィー：清野喜久美，6，443
看護と法：船山泰範，7，529
「子どもを守る国」をつくるために：桃井真里子，9，
705
母体と胎児の姿無き遺伝関係：柳澤秀明，10，791
薬剤師として，女性として：堀美智子，11，885
ガザの悲しみ：小田切拓，12，971

今月のニュース診断

病名変更・呼称変更：斎藤有紀子，1，6
十代の妊娠中絶について―安易な妊娠＝中絶という
〈暴力〉：加藤秀一，2，94
写真掲載と患者のプライバシー：斎藤有紀子，3，184
DV(ドメスティック・バイオレンス)への基本的視
点：加藤秀一，4，274

女性がん患者のリプロダクションー卵子凍結保存、代理出産の試みの中で：斎藤有紀子，5，358
「人権擁護法案」と犯罪被害者の人権ー特にジェンダーの視点から：加藤秀一，6，444
中絶胎児の研究利用の是非：斎藤有紀子，7，530
ヒト・クローニングの急展開を眺めながら：加藤秀一，9，706
中絶の予防と，中絶の施策：斎藤有紀子，10，792
性別の自己決定権と戸籍制度：加藤秀一，11，886
がん患者の性：斎藤有紀子，12，972

研究・調査・報告

赤ちゃんの取り扱い防止と産婦確認のママポケットの開発と使用：田巻まき子・高橋留美・大内ゆか・大隅孝恵・古川宣二，3，245
コートジボアール共和国，Bakatokronou 村での妊娠と出産に関する調査：小林みどり，5，426
寸劇を取り入れたパパの子育て教室の展開：中畑ヒロ子・飛田満江，6，515
帝切分娩で立ちあって良かったと夫に感じてもらえる支援と夫へのアンケート調査：青山幸恵・押切良子・村山初枝・鈴木清美・及川みや子・熱海泰・池野暢子，7，604
家族関係の満足感と高校生の性意識・性経験ー群馬県の一男女共学高校2年生の調査より：杉田与志子・日比野妙子，9，767

ケースレポート

頸髄損傷女性の2回の妊娠・分娩ケアの実際：青木恒子，1，70
産褥期に非定型精神病を発症した一女性の経日的変化の特性：保屋野桃子・今田広子・袴田玉代・加藤景子・柳瀬和子，11，952

トピックス

「保助看法」一部改正案が成立ー助産婦は「助産師」に名称変更，1，69
4月から母子健康手帳が新しくなります：新野由子，4，346
日本看護協会助産師職能が「男性助産師と助産実践」をテーマに講演会を開催：宮崎文子，8，698
お産のイベントが歌舞伎町で：松坂あまら，9，776
ウィメンズセンター大阪が『DV(ドメスティック・バイオレンス)にとりくむー医療現場でできること』を発行：谷田寿美江，10，866
多くの助産師が「遺伝相談セミナー」に参加しました，10，878
矢島床子さんが出産の写真を集めて，ビデオ「産むー私がつうみましたー」をつくりました，11，936

連載

●判例にみるジェンダー：石井トク

虚偽の嫡出子出生届と遺産相続権，1，80
内縁の夫による児童虐待死，2，172
職場における昇格・賃金の女性差別，3，262

●英国助産婦学生日記：日方圭子

2年目の始まり，1，86
勉学と看護実習の秋，2，176
英国助産婦学生日記・その15 看護実習を終えて冬休みへ，3，266
分娩室実習，4，349
実習はまだ続く，5，436
コース後半の始まり，6，521
4月，春休み明け，7，608
5月末実習に戻る，9，783
7月は授業。8月は実習，10，879
NICU 初体験，11，962
ルブナ，12，1052

●新生児医療最新トピックス：仁志田博司

サイトカイン：生体の細胞と細胞の間を駆けめぐる不思議な物質(下)，1，76
新生児医療における13C呼吸テストー赤ちゃんにやさしい非放射性同位体の利用，2，165
子どもの心を育む医療ーやさしさの源泉を求めて，3，255

●生殖補助医療ー“技術”がもたらした現実と未来

生殖補助医療に伴う生命倫理ーデザイナー・ベイビーを否定しよう：武部啓，9，772
50年に及ぶAIDから見えてきたこと：久慈直昭・田中雄大・吉井毅・浅田弘法・橋場剛士・末岡浩・吉村典泰，10，867
AIDで生まれた子どもたちに出会って：春日真人，11，956
長期不妊，妊娠不成立時の心理カウンセリングから見えるもの：赤城恵子，12，1044

●りれー随筆

役に立ちたい：上條智恵，1，84
アメリカで子供を育てるとのこと：是澤麻子，2，174
成長の肥やし：坂真由美，3，264
助産院で産む：阿部かおる，4，350
地の塩，世の光：松下恵美，5，434
イスタンブールでの生活：上田晴美，6，522
Heal Thyselfー汝自身を癒せ：杉本亜紀，7，610
我家の風景：安藤輝江，9，784
メコンの風に思いを馳せて：森兼真理，10，874
「産むのは私」ー表象のもつ暴力性：嶋澤恭子，11，964
支えられて：高野味鈴，12，1050

BOOK

アフリカで活躍する助産婦徳永瑞子さんの新刊『シンギラ ミンギエイズ患者とともに生きて』：徳永瑞子，1，35

『知って！貴女の骨盤底』—いま見直される健康の条件：中田真木，10，842

『いのちの大切さをつたえる絵本—生まれてきてくれてありがとう』：鈴木せい子，10，852

My BOOK

父親はどうやって育つのか—『ぼくが父であるために』

を執筆して：松本康治，7，602

書評

『看護職のための代替療法ガイドブック』：遠藤恵美子，4，330

『ワーキング・トゥギャザー』は部分的にも使えそうです！：柳沢尚代，12，1020

読者談話室

乳児院ナース：石田恭子，9，778

INFORMATION

第2回少子化対応推進全国フォーラム in 佐世保

日時：2003年1月31日(金)・2月1日(土)

場所：アルカス SASEBO(長崎県佐世保市)

定員：2,000名

参加費：無料(報告書 1,000円，交流会費 3,000円，31日分弁当 800円)

その他：託児あり(1月10日締め切り)，宿泊(問い合わせのこと)，全日程手話通訳あり

●プログラム

1月31日 基調講演「子育てに夢をもてるまちづくり」
鈴木光司(作家)/シンポジウム「『子育て』って誰がするの？～家庭で・地域で・企業で……いろんな子育てを考える」鈴木光司・深谷和子(東京成徳大学大学院教授)・中尾哲雄((株)インテック取締役社長)・ヒームストラ・クレメント(佐世保在住オランダ人)・厚生労

働省/交流会

2月1日 分科会「みんなで“さんかく”，“まあーるい”家庭」「子ども元気！まちも元気！」「あなたの会社はどこまでできる？」「聞いてみらんね・子どものメッセージ！」/全体会

申し込み締め切り：専用申込書にて，11月30日までに

●申し込み・お問い合わせ先

事務局

少子化対応推進全国フォーラム(佐世保市役所内)

〒857-8585 佐世保市八幡町1-10

Tel. 0956-24-1111(2450・2451)/Fax. 0956-25-9652

E-mail: shoushi@city.sasebo.nagasaki.jp

URL: <http://www.city.sasebo.nagasaki.jp/kodomo>